

(仮称) 大田区環境アクションプランの策定 **重プ**

予算額 162万9千円

副題：多様化・複雑化する環境課題の解決を目指します

ポイント

大田区環境基本計画（後期）が令和3年度末で計画期間終了となることに伴い、令和3年度中に「(仮称) 大田区環境アクションプラン」を策定します。

事業概要

1 多様化する環境課題の同時解決

近年、猛暑日や集中豪雨の増加、大型台風の襲来など、気候変動の影響が顕在化しています。加えて、食品ロスやプラスチックごみの問題など、環境課題は多様化、複雑化しています。

このような課題を解決していくためには、区民一人ひとりの行動変容が不可欠です。

区は、「(仮称) 大田区環境アクションプラン」において新たにSDGsの視点を取り入れ、区民・事業者などとの主体間連携の強化を図るとともに、環境に配慮した「新たな日常」の実現を目指します。



2 気候変動への適応

これまでの地球温暖化の緩和という視点に加え、気候変動への適応という視点から、既存事業を整理・体系化します。

問合せ先

担当部課 環境清掃部 環境計画課

課長 岡本 電話 5744-1738

大田区地球温暖化防止アンバサダー

重プ

予算額 327万9千円

副題：区民運動「おおたクールアクション」を応援します

ポイント

大田区地球温暖化防止アンバサダーの依田司さん(区出身の気象予報士)から地球温暖化の現状や現在の暮らし、未来への影響に関する情報を発信します。

また「おおたクールアクション」の応援団として、環境にやさしいライフスタイルへの転換を促進します。

事業概要

1 大田区地球温暖化防止アンバサダーからの情報発信



大田区地球温暖化防止アンバサダー 依田 司 さん

区のホームページやツイッターで地球温暖化やクールアクションに関する情報を発信します。

また講演会やリーフレットなどを通じて、区民と一緒に地球温暖化や気候変動の問題を考え、解決に向けた実践行動を促進します。

2 環境にやさしいライフスタイルへの転換を促進

おおたクールアクションは、一人ひとりが地球温暖化の問題を自分事として捉え、「省エネ・3R・グリーン購入」を実践する区民運動です。

本運動に賛同した企業・団体の皆さんの実践を共有・発信することで、活動の輪を拡大します。また、賛同団体が立ち上げた「おおたクールアクション推進連絡会」が実施する講演会や普及啓発などの活動を支援します。



問合せ先

担当部課 環境清掃部 環境計画課

課長 岡本 電話 5744-1738

食品ロス削減プロジェクト

重プ

予算額 156万7千円

副題：食品ロス削減に向けたプロジェクトを推進します

ポイント

食品ロス削減へ向けた区民・事業者・行政の連携による取り組みとして、機運醸成を図る普及啓発や未利用食品の有効活用などの各種事業を展開し、環境にやさしいライフスタイルへの転換の促進を図ります。

事業概要

1 食品ロス出前授業

区立の小中学生を対象に、食品ロスを「知る」・「考える」きっかけとなるよう、出前授業を行います。

2 食品ロス削減実践講座

環境にやさしいライフスタイルへの転換につながるよう「家庭でできる食品ロス削減」をテーマとする講座や動画配信などを行います。



3 フードドライブの推進

家庭にある未利用食品をひとり親家庭を支援するフードバンクやこども食堂などに寄付する取り組みを推進し、「もったいない」を「ありがとう」へつなげていきます。

4 地産地消型未利用食品マッチング

区内事業者から排出される未利用食品を区内の福祉団体などとマッチングし、有効活用を図ることで食品ロス削減へとつなげます。

5 大田区食べきり応援団

食品ロス削減に取り組む事業者を区がホームページや広報紙などを通じてPRし、区民の利用を推奨して、事業者の食べきり活動を支援します。



問合せ先

担当部課 環境清掃部 環境計画課

課長 岡本 電話 5744-1738

環境普及啓発の推進

重プ

予算額 314万4千円

副題：子どもたちと一緒に、環境にやさしいライフスタイルを実践します

ポイント

地球温暖化や食品ロスなどの環境課題を解決するためには、子どもたちと一緒に環境にやさしいライフスタイルを実践することが必要です。

また、「新たな日常」を踏まえ、ホームページなどを活用した情報発信や学習機会提供の充実を図ります。

事業概要

1 非接触型の学習機会の充実

いつでも学べるよう、ホームページなどで環境に関する情報発信を強化します。また、環境啓発コーナーなどを活用し、乾式オフィス製紙機を活用したコピー用紙の削減など区の取り組みや環境情報を発信していきます。



環境啓発コーナー（本庁舎2階）



2 各種コンクールの開催

小中学生を対象とする「地球にやさしいまちづくりポスターコンクール」、親子や友だち同士など幅広い世代が参加できる「エコレシピコンクール」を開催します。

令和2年度ポスターコンクール
最優秀賞（中学生部門）

3 体験型イベントの実施

区内で環境保全活動に取り組む団体・企業などが、日頃の活動成果を活かし、子どもが体験を通じ楽しみながら「環境」を学ぶ機会を提供します。



令和元年度エコフェスタワンダーランド
「リースづくり」の様子

問合せ先

担当部課 環境清掃部 環境計画課

課長 岡本 電話 5744-1738

おおたプライド事業「大田区学」開講

新規

重プ

予算額 51万8千円

副題：知る人ぞ知る区の奥深さの再発見を通じてシビックプライドを醸成します

ポイント

身近にありながら気づかなかった、大田区の歴史・文化・名所・伝統・食といった幅広い分野に存在する奥深さを、講座やクイズを通して無料で楽しく学べる事業を開始します。

まちの魅力の再発見を通じてシビックプライドの醸成につなげ、区外の方にも大田区の奥深さを知ってもらうことで、広く区内外に大田区ファンを増やし、「住んで良し、訪れて良し」のまちづくりを進めます。

事業概要

1 ミニミニ講座の開講

時間や場所を選ばず楽しく大田区のことを学んでいただける、ミニミニ講座をYouTubeなどで配信します。

2 クイズ大田区学の実施

知る人ぞ知る情報をSNSなどで発信するほか、クイズ形式でも大田区の魅力を学習できるようにします。

(ジャンル候補)

- | | | |
|---------|--------|---------|
| ① 歴史・文化 | ② 観光名所 | ③ 伝統工芸 |
| ④ 先端産業 | ⑤ 自然 | ⑥ 雑学・蘊蓄 |
| ⑦ グルメ | ⑧ スポーツ | |

「あげぱん」は
こうして生まれました!

昭和27年頃、大田区の嶺町小学校の調理師さんによって考えられたといわれています。当時、固くなったパンをどうやったら美味しく食べられるかと考え、油で揚げて砂糖をまぶしました。昔も今も、給食の人気メニューです。



問合先

担当部課 観光・国際都市部 観光課

課長 白根 電話 5744-1321

Webによる観光・文化・スポーツの動画配信

新規 重プ

予算額 511万円

副題：おうち時間を楽しく・豊かに・健やかに過ごせる動画をWeb配信します

ポイント

新型コロナウイルス感染症における「新たな日常」の中、家に居ながら区内の観光スポットや文化に触れたり、部屋で簡単にできるストレッチや手軽な運動方法を紹介した動画を無料で配信し、楽しく・豊かに・健やかにステイホームできる取り組みを進めます。

事業概要

1 区内探訪「はねびよんさんぽ」

大田区公式PRキャラクター「はねびよん」が区内の観光スポットや商店街などを巡り、各地の自然の風景、そこで培われた人々の暮らし、そして新たな魅力をSNSショートムービーで紹介します。



2 全国初「勝海舟記念館」2周年オンライン講演

勝海舟記念館のベースとなった国登録有形文化財である旧清明文庫では、かつて様々な講演や講義が行われていました。今年は記念館開館2周年を記念し、当時の面影を残した講堂を会場に（仮称）「勝海舟と渋沢栄一」と題した講演会をオンラインで行います。



3 自宅で手軽にスポーツに取り組める機会の充実

スポーツ情報紙「Spoota!」は、冊子と動画により各種スポーツイベントや様々なエクササイズを年4回紹介しています。令和3年度は、自宅などで取り組めるエクササイズの動画配信を年8回へと倍増させることにより、身体を動かせる盛りだくさんなメニューをご紹介します。

また、大森スポーツセンターのホームページでは、専門のスポーツトレーナーが、スポーツ情報やストレッチ動画を配信し、皆様の健康づくりを応援します。



問合先	担当部課	上記1	観光・国際都市部	観光課
		上記2	観光・国際都市部	文化振興課
		上記3	観光・国際都市部	スポーツ推進課
	課長	上記1	白根	電話 5744-1321
		上記2	山本	電話 5744-1217
		上記3	堀	電話 5744-1635

大田区南六郷創業支援施設開設

重プ

予算額 1億8,290万5千円

副題：多様な創業希望者を支援し、区内産業の発展につなげます

ポイント

令和3年10月（予定）、ものづくりのまち六郷にインキュベーション施設を開設します。

事業概要

創業相談を得意とする専門スタッフが、創業者に寄り添った支援を行います。

区内企業をはじめとする地域資源を活用したセミナー・イベントなどを定期的に行い、創業の機運を醸成します。

3Dプリンタなどを設置し、創業者の事業化を後押しします。



施設外観

問合せ先

担当部課 産業経済部 産業振興課

課長 堀江 電話 5744-1347（工業振興担当）

区内回遊型「おおた商い・観光展」の開催

重プ

予算額 874万7千円

副題：大田区の街全体が会場！お店や話題のスポットを巡り区内を再発見！

ポイント

新型コロナウイルス感染症を契機とした「新たな日常」に向けて、従来の開催場所である大田区産業プラザP i Oから飛び出し、「大田区街全体」を会場として開催します。参加者がお店や観光スポットを巡ることにより区内の魅力を再認識し、会期終了後もお気に入りのお店を訪れてもらえる企画を実施します。

事業概要

1 大田区の街全体が会場！（コロナ禍の三密防止対策）

期間中、参加者が区内のお店や観光スポットを何度でも訪れたいと思えるよう、参加事業者や大田区商店街連合会・大田観光協会などの関係団体と連携し、キャンペーンや街めぐりなどの企画を実施します。

大田区の特徴を念頭に、区内の魅力を実感できる企画を打ち出して、「大田の商いと観光の魅力」を再認識・再発見していただきます。

2 お店や観光スポット巡りで会期終了後もお気に入りのお店へ

特設サイトやチラシなどのPR媒体にも工夫を凝らし、会期終了後もお店や観光スポットを何度でも訪れたいと思う効果的な宣伝を行います。



令和2年度のポスター

問合せ先

担当部課 産業経済部 産業振興課

課長 大木 電話 5744-1337

受・発注相談事業（オンライン併用）

重プ

予算額 3,078万円

副題：コロナ禍における新たな取引促進機会を提供します

ポイント

長引くコロナ禍で、対面での受・発注あっせん、発注開拓、商談会の開催などが制限される中、Web会議システムなどを活用したオンラインでの対応も併用して行い、受注減に陥っている区内中小事業者の取引促進機会を拡大します。

また、中小事業者に対して、ITリテラシー向上に向けたセミナーを開催することで各社の企業成長につなげ、全体的な底上げを図ります。

事業概要

国内外からの受・発注あっせん相談に対応可能な専門相談員を配置し、幅広く商談機会を創出します。

1 相談業務

専門の相談員が、受・発注のあっせん相談、区内中小事業者への巡回訪問を行います。

2 発注開拓

大手・中堅企業の企画・開発部門などへアプローチし、発注案件の開拓を行います。

3 受・発注商談会

技術連携などの情報交換の場として、区内外のものづくり企業が一堂に会した受・発注商談会を開催します。（年1回）

4 スマイルカーブ商談会 他

製造業において付加価値の高い設計やデザイン、アフターサービス・修理などの企業・部署との商談会を開催します（年1回）。

また、関係団体・金融機関などと連携した個別商談会を対面又はオンラインで開催します。（不定期）

5 ITリテラシー向上に向けた研修

Web会議システムを活用した商談・折衝におけるポイントなど、区内中小事業者のITリテラシー向上を目的としたセミナーを開催します。（不定期）



オンライン商談の様子

問合せ先

担当部課 産業経済部 産業振興課

課長 堀江 電話 5744-1347（工業振興担当）

東京 2020 大会に向けた取り組み

重プ

予算額 1億4,187万6千円

副題：大会開催を千載一遇の機会とし、区のレガシーにつなげます

ポイント

東京 2020 大会に、区民のだれもが参加できる機会を提供することで、選手の活躍や忘れ得ぬ感動を心に刻み、併せて区の目指すレガシーを残せる取り組みを行います。また、各種大会関連事業を通じ、区民のボランティアマインドや国際理解の醸成、地域活性化を図ります。

事業概要

1 おおたウエルカムボランティア事業

観光・スポーツ・国際交流の3分野に分かれたボランティア事業とし、観光と国際交流分野については大会期間中に区内主要駅などで観光案内を行い、スポーツと国際交流分野についてはブラジルオリンピック選手団が事前キャンプを行う各施設で練習のサポートや通訳を行います。



JR 蒲田駅で外国人に道案内



ブラジル選手に通訳により食品成分を説明

2 ブラジル選手団の事前キャンプ受け入れ

バレーボール（男子）、ハンドボール、ビーチバレーボールの3競技のチームの事前キャンプを受け入れます。国や大会組織委員会など関係機関と連携し、感染症予防策を講じるなど、選手たちが万全の状態で大大会に臨めるようサポートするとともに、コロナ禍でも取り組める区民との交流を通じて相互の国際理解を深めます。



公開練習の様子

3 東京 2020 大会気運醸成事業

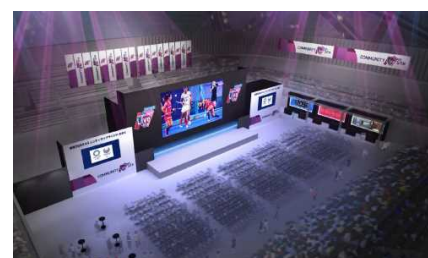
区施設や区内の主要駅周辺に、大会ルック（大会の個性を表現する特徴的なデザイン）を使用した装飾や区内開催競技のホッケー、ブラジルのホストタウンであること、区にゆかりのある出場選手などを紹介する装飾を行い、大会への期待感や気運を醸成します。



蒲田駅東口仮囲い（イメージ）

4 東京 2020 大会関連事業

大会期間中に、大田区総合体育館を会場として、東京 2020 大会を楽しめる競技放映やステージイベントなどを行うコミュニティライブサイトを実施します。ライブサイトでは、震災復興五輪という観点から友好都市である宮城県東松島市の復興の様相も紹介します。



コミュニティライブサイト（イメージ）

また、聖火リレー走行時（令和3年7月21日）に、出発地となる大森ふるさとの浜辺公園でミニセレブレーション（区間内で行われるセレモニー）を実施し、聖火ランナーが大田区を走る感動を区民と共有し、地域から大会を盛り上げます。大会直前には、読売交響楽団によるコンサートを実施し、障がいの有無に関わらず、誰もが自由に音楽を楽しみながら、パラリンピックの周知や持続可能な共生社会の理解促進を図ります。

問合せ先	担当部課	観光・国際都市部	スポーツ推進課
	課長	千葉	電話 5744-1733（東京オリンピック・パラリンピック推進担当）

東京 2020 大会を契機とした地域活性化事業

新規

重プ

予算額 100 万円

副題：東京 2020 大会中、涼しい朝の時間を活用して地域で盛り上げます

ポイント

東京 2020 大会の開催期間にあわせて、地域団体などが朝の時間帯に区内の観光資源などを活用して、来訪者の回遊・消費向上に資する事業を創意工夫して実施できるよう支援します。

さらに、来訪者のみならず、大会期間中に区民が地元への愛着や誇りを高められる事業に対しても支援を行います。

事業概要

朝の涼しく密になりにくい時間帯を有効利用し、身近な施設・公園・商店などをベースに地域団体などが企画・実施する、安全で健康的に楽しめる観光・地域活性化事業に対して助成します。

<事業想定例>

- ・朝市
- ・モーニングカフェ
- ・朝湯
- ・文化体験
- ・早朝スポーツ



イメージ写真

この取り組みにより、区内経済活性化につなげるとともに、区民や地域団体が観光のまちづくりの担い手としてデビューすることを応援します。

問合せ先

担当部課 観光・国際都市部 観光課

課長 白根 電話 5744-1321

都市計画マスタープランの改定 **重プ**

予算額 1,281万1千円

副題：将来を見据えた大田区の都市像や都市づくりの方針を示します

ポイント

都市計画マスタープランは、概ね20年先を目標年次として、将来の都市の姿や、それを実現するための方針や取り組みを示す計画です。

平成23年3月の前回改定以降、東日本大震災の発生や少子高齢化の進展、新型コロナウイルス感染症の流行など、区の内外を取り巻く社会状況が大きく変化していることを踏まえ、令和元年からの3か年で改定に向けた検討に着手しています。

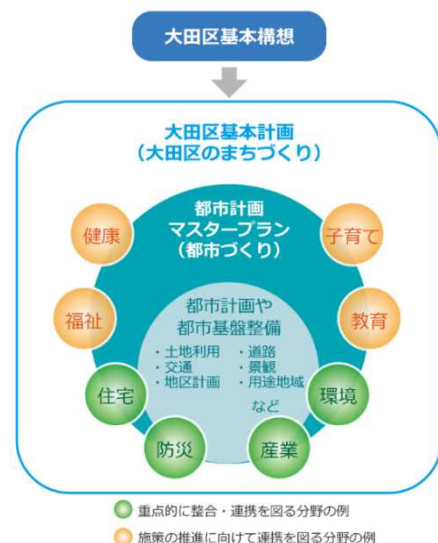
事業概要

令和2年度は、前年度からの課題検討を引き続き進めるとともに、新型コロナウイルスの都市づくりに対する影響分析を行い、新型コロナウイルス感染拡大を契機とした新たな課題や都市づくりの方向性について、都市計画マスタープラン骨子（案）に反映しました。

令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大に配慮した区民参画を実施して地域別方針の策定を進めるとともに、学識経験者による検討を経て素案として公表します。公表の際は、説明会やパブリックコメントを実施して、素案に対して広く意見募集を行います。

頂いた意見を取りまとめた後、年度内に計画の改定を行います。

都市計画マスタープランで扱う内容



問合せ先	担当部課	まちづくり推進部	都市計画課
	課長	榑原	電話 5744-1331

空港臨海部まちづくり・交通ネットワーク計画等策定 重プ

予算額 3,183万1千円

副題：誰もが快適で、楽しみ・親しめる“空港臨海部”を目指します

ポイント

埋立島部（平和島、昭和島、京浜島、東海、城南島、令和島）、羽田空港などの臨海部の自然資源・観光資源などを活かした魅力創出と産業の発展に向け、令和2年度に続き「空港臨海部グランドビジョン2030」の改定と、臨海部の交通利便性向上や道路ネットワーク改善・強化などに向けた計画策定に取り組めます。

事業概要

1 空港臨海部グランドビジョン2030改定

令和2年に区へ編入された令和島のまちづくりや新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、2040年における空港臨海部の将来像の実現に向けたプロジェクトなどについて検討します。また、令和3年度内にパブリックコメントを経て、空港臨海部グランドビジョン2030を改定します。

空港臨海部航空写真



2 空港臨海部交通ネットワーク基本計画等策定

喫緊の課題である埋立島部における公共交通や道路交通の環境改善に関して検討します。とりわけ、内陸部と臨海部のアクセス向上について、令和2年度に引き続き調査・検討を実施します。併せて多摩川トンネル整備後を視野に入れ、国道、都道、主要な区道で発生している渋滞緩和策や新規道路整備・既存道路拡幅などの必要性と可能性についても検討します。

問合先	担当部課	まちづくり推進部	都市計画課
	課長	神保	電話 5744-1671 (空港臨海部調整担当)

HANEDA GLOBAL WINGSのまちづくり

重プ

予算額 8億6,837万1千円

副題：世界と地域をつなぐ「新産業創造・発信拠点」を形成します

ポイント

HANEDA GLOBAL WINGS（羽田空港跡地）が先端産業などの発信による区内波及効果を創出し、多様な人々が来訪するにぎわいのある拠点となるよう、まちづくりを進めます。羽田イノベーションシティでは、引き続き、公民連携のもと世界と地域をつなぐゲートウェイとして、国内外のヒト・モノ・情報の交流を活発化させ、新たなビジネスやイノベーションを創造する「新産業創造・発信拠点」の形成を目指します。

事業概要

区のものづくりの技術をはじめ、先端産業、優れた日本文化などを発信する「新産業創造・発信拠点」の形成とともに、HANEDA GLOBAL WINGS 全体の有機的連携によりまちの魅力向上を図っていきます。

1 拠点形成に向けた取り組みの推進

令和2年に開業した羽田イノベーションシティについては、全施設開業に向けた整備を進めるとともに、公民連携による区内波及の創出に取り組めます。また、地域課題解決に向けたスマートシティの構築についても推進していきます。

区施策活用スペース（「HANEDA×Pi0」）の施設運営については、同スペース内交流空間の利用拡大、及び同空間を核とした新産業創造・発信エコシステムの構築に向け、モデルとなる事業の実装に向けた取り組み、及び当該事業の外部プロモーションなどを推進します。

2 基盤施設の整備推進

第1ゾーンにおいては、UR都市機構による都市計画道路整備や都市計画公園予定地造成などを進めます。また、第2ゾーンにおいては、多摩川河口部へのソラムナード羽田緑地拡張に向けた協議・手続きを進めます。

3 都市計画公園予定地などの土地活用事業の推進

公民連携を視野に入れた都市計画公園の整備・運営の仕組みづくりとともに、基本計画策定に向けた検討を進めます。併せてHANEDA GLOBAL WINGSの水辺に隣接した土地などを活用した、憩いと賑わいの創出に向けた取り組みを推進していきます。



羽田イノベーションシティ



「HANEDA×Pi0」交流空間

問合せ先	担当部課	上記1のうち羽田イノベーションシティについて・2・3 空港まちづくり本部 空港まちづくり課 上記1のうち区施設活用スペースについて 産業経済部 産業振興課	
	課長	上記1のうち羽田イノベーションシティについて 鈴木 電話 5744-1537 (事業調整担当) 中村 電話 5744-1648 上記1のうち区施設活用スペースについて 臼井 電話 5744-1614 (産業交流担当) 上記2・3 立花 電話 5744-1646 (空港基盤担当) 副参事 上記2 近江 電話 5744-1668 (工事調整担当)	

鉄道・都市づくり関連事業の着実な推進

重プ

予算額 7億5,767万1千円

副題：鉄道事業者などとの公民連携を踏まえた

鉄道・都市づくりを着実に進めます

ポイント

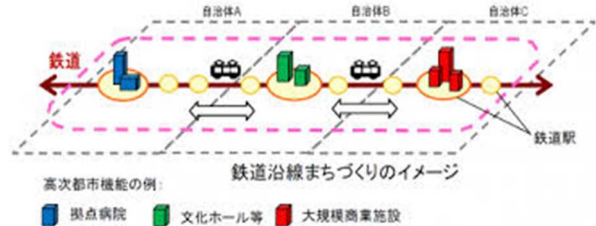
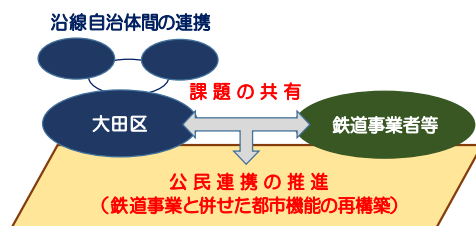
激甚化する災害に備えた「国土強靱化」の取り組みの一環として、新空港線事業と併せた蒲田地域の機能更新、ポストコロナの視点から取り組む大森地域の整備や、下丸子や池上などの鉄道沿線地域の都市づくりを一体的に進めるため、まちづくり推進部から独立して、新たに鉄道・都市づくり部を設置し、事業を強力に推進します。

都市づくりの新たな組織を構築した上で、鉄道事業者などとの公民連携を進めることにより、事業効果を高め、より迅速に事業を遂行するとともに、コロナ禍を踏まえ、「新たな日常」に対応すべくゆとりある公共空間の創造を目指します。

事業概要

【鉄道事業者などとの公民連携イメージ】

自治体と鉄道事業者などが課題を共有し、公民連携を進め、鉄道事業と併せた都市機能の再構築を図ることで、鉄道沿線地域の都市づくり事業を推進します。



出典：鉄道沿線まちづくりガイドライン（国土交通省都市局）

1 蒲田駅周辺地区の整備

区を中心拠点である蒲田駅周辺地区については、平成21年度に策定した「蒲田駅周辺地区グランドデザイン」を具現化するために、平成25年度に「蒲田駅周辺再編プロジェクト」を策定し、この計画を基に、蒲田駅東口駅前広場や東口地下自転車駐車場の初動期整備を進めています。

「蒲田駅周辺地区グランドデザイン」は、策定から約10年が経過していることから、社会情勢やまちづくりの動向を踏まえ改定に向けた検討を進めており、さらなる賑わいや回遊性の向上を図り、将来に渡り持続可能な発展を目指します。



蒲田駅東口駅前広場整備イメージ

2 大森駅周辺地区の整備

大森駅周辺地区では、池上通り（補助 28 号線）を始めとする都市基盤施設整備や沿道まちづくりを推進します。また、東口駅前広場を含む中長期を見据えた再編整備に向けてさらなる検討を進めます。



大森駅西口周辺の都市基盤施設の整備イメージ図

3 多摩川線沿線駅周辺地区のまちづくり

新空港線軸の拠点である下丸子駅周辺については、踏切道改良促進法で改良すべきとされた下丸子 1、2 号踏切の抜本的な対策も視野に入れたまちづくりに向けて検討を進めていきます。

4 池上地区のまちづくり

「池上地区まちづくりグランドデザイン」に掲げた将来像の実現に向け、都市基盤施設整備及び景観整備などに関する検討を行い、魅力あるまちづくりに取り組みます。



池上駅北口完成写真（提供：東急電鉄株式会社）

5 新空港線の整備主体設立に向けた取り組み

新空港線事業は、国の交通政策審議会答申第 198 号において、「進めるべき」とされた 6 路線の 1 つに位置付けられるとともに、東京都の『「未来の東京」戦略ビジョン』の中の「公共交通ネットワークの更なる充実」において、「事業化に向けた関係者の取組を加速」とされています。

区では、現在、関係者との協議調整を加速させるために、都から設置の提案があった「新空港線及び沿線まちづくり等の促進に関する協議の場」において都区間の合意形成が整うよう鋭意協議を進めています。そして、合意形成が図られた後に速やかに整備主体を設立し、早期に事業着手できるように準備を進めます。

問合せ先	担当部課	上記 1・2・4	まちづくり推進部	都市開発課
		上記 1のうち「蒲田駅東口の初動期整備」		
			都市基盤整備部	建設工事課
		上記 3・5	まちづくり推進部	都市計画課
	課長	上記 1	大見	電話 5744-1351（拠点まちづくり担当）
		上記 1のうち「蒲田駅東口の初動期整備」		
		浦瀬	電話 6436-8720	
	上記 2	柞木	電話 5744-1341	
	上記 3・5	山田	電話 5744-1736（新空港線・まちづくり調整準備担当）	
	上記 4	片平	電話 5744-1454（地域整備担当）	

大森西地区公共施設の整備

重プ

予算額 3億1,703万2千円

副題：(仮称) 大森西二丁目複合施設の整備計画を推進します

ポイント

区民活動支援施設大森（こらぼ大森）の暫定利用期間の終了を受け、区民活動支援施設大森の敷地を中心に、周辺の公共施設の集約・複合化を行います。多世代が集う地域の拠点を整備することにより、区民の利便性の向上を目指します。

事業概要

1 コンセプト

- (1) 利便性の向上 統合後の校舎活用施設の敷地を中心とした施設の再編
- (2) 地域のにぎわい創出 多世代の方が多く集う地域の活性化拠点の整備
- (3) 防災拠点機能の強化 安全・安心なまちづくりの推進

2 施設概要

- (1) 大森西特別出張所
- (2) 区民センター
- (3) 区民活動支援施設大森
- (4) 地域包括支援センター・シニアステーション
- (5) 大田区シルバー人材センター大森西作業所
- (6) 大田福祉作業所 大森西分場
- (7) こども発達センターわかばの家分館
- (8) 子ども交流センター
- (9) 大森西保育園
- (10) 防災備蓄倉庫

3 整備スケジュール

令和元～3年度 基本設計・実施設計

令和3年度～ 改修工事・建築工事

問合先	担当部課	上記2 (1) (2) (3)	地域力推進部	大森西特別出張所
		上記2 (4) (5)	福祉部	高齢福祉課
		上記2 (6)	福祉部	障害福祉課
		上記2 (7)	障がい者総合サポートセンター	
		上記2 (8)	こども家庭部	子育て支援課
		上記2 (9)	こども家庭部	保育サービス課
		上記2 (10)	総務部	防災危機管理課
	所長	上記2 (1) (2) (3)	須田	電話 3764-6321
	課長	上記2 (4)	酒井	電話 5744-1255
		上記2 (5)	浅沼	電話 5744-1428 (元気高齢者担当)
	上記2 (6)	曾根	電話 5744-1679 (障害福祉サービス推進担当)	
次長	上記2 (7)	要	電話 5728-9132	
副参事	上記2 (8)	増田	電話 5744-1678 (放課後居場所づくり担当)	
課長	上記2 (9)	津本	電話 5744-1276	
	上記2 (10)	長沼	電話 5744-1704	

入新井地区公共施設の整備

新規

重プ

予算額 3億4,052万1千円

副題：(仮称)大森北四丁目複合施設の整備計画を推進します

ポイント

入新井第一小学校の改築にあたり、教育環境の維持・向上とともに、地域特性や行政需要に応じた公共施設を整備することで、新たな地域の拠点とすることを目指します。

事業概要

1 コンセプト

- (1) 利便性の向上 公共施設の集約複合化などによる効果的・効率的施設
- (2) 地域のにぎわい創出 学習・趣味などさまざまな年齢層の方が楽しめる施設
- (3) 文化活動の創造 学校や地域で利用できる文化活動などの発表の場

2 施設概要

- (1) 区民活動施設
- (2) 地域包括支援センター・シニアステーション
- (3) 適応指導教室つばさ
- (4) 放課後ひろば(学童保育・放課後子ども教室)
- (5) 子育て支援施設
- (6) 男女共同参画支援施設
- (7) 地域防災施設

3 整備スケジュール

令和3～6年度 建築工事

問合先	担当部課	上記2(1)	地域力推進部	入新井特別出張所
		上記2(2)	福祉部	高齢福祉課
		上記2(3)	教育総務部	教育センター
		上記2(4)	のうち学童保育	
			こども家庭部	子育て支援課
		上記2(4)	のうち放課後子ども教室	
			教育総務部	教育総務課
		上記2(5)	こども家庭部	保育サービス課
		上記2(6)	総務部	人権・男女平等推進課
		上記2(7)	総務部	防災危機管理課
	所長	上記2(1)	阿部	電話 3761-5303
	課長	上記2(2)	酒井	電話 5744-1255
	所長	上記2(3)	柿本	電話 3752-2212
	副参事	上記2(4)	のうち学童保育	
			増田	電話 5744-1678 (放課後居場所づくり担当)
		上記2(4)	のうち放課後子ども教室	
			丹野	電話 5744-1401 (教育地域力担当)
	課長	上記2(5)	津本	電話 5744-1276
		上記2(6)	塩沢	電話 5744-1686
		上記2(7)	河井	電話 5744-1712 (防災支援担当)

田園調布地区公共施設の整備

重プ

予算額 4億9,871万3千円

副題：田園調布せせらぎ公園を中心に公園と施設の整備を推進します

ポイント

1月16日に開館した田園調布せせらぎ館に田園調布富士見会館、田園調布せせらぎ公園休憩所の機能を集約しました。今後は、田園調布せせらぎ公園内の広場などの再整備及び公園体育施設の整備を進めるとともに、現在の田園調布富士見会館を改修し、田園調布特別出張所及び地域包括支援センター田園調布を移転させます。

田園調布せせらぎ公園及び関連施設の整備を進めることで、公園を中心とした田園調布地区の暮らしやすさと魅力アップにつなげます。

事業概要

1 田園調布せせらぎ公園の整備（拠点公園の整備）

田園調布せせらぎ館に機能移転した公園の休憩施設を解体します。跡地をエントランス広場として再整備するために、令和2年度に実施したワークショップの意見も踏まえ、一部実施設計に着手します。解体にあたっては、既存の樹木の移設を行うとともに、田園調布せせらぎ館周辺の樹木の復元工事を行います。

○ 整備スケジュール

令和3年度 既存休憩施設の解体、再整備の実施設計

令和4年度以降 整備工事

2 （仮称）大田区田園調布せせらぎ公園体育施設の整備

令和2年度に実施したワークショップなどを踏まえ、公園内に新たに設ける広場などのゾーニング計画に基づき、公園の屋外施設と連携し様々な区民活動が可能なスポーツ・レクリエーションの拠点として整備します。

○ 整備スケジュール

令和3年度 地盤調査

令和2～4年度 基本設計・実施設計

令和4～5年度 新築工事予定

3 田園調布富士見会館の整備

田園調布せせらぎ館に機能移転した田園調布富士見会館の改修工事を行います。竣工後は、田園調布特別出張所と、複合化による機能強化を図るため地域包括支援センター田園調布を移転します。

○整備スケジュール

令和2～3年度 改修工事
令和3年度～ 施設運営開始予定

問合先	担当部課	上記1	都市基盤整備部	建設工事課
		上記2のうち施設の整備計画に関すること		
			地域力推進部	地域力推進課
		上記2・3のうち施設の運営計画、特別出張所の移転に関すること		
			地域力推進部	田園調布特別出張所
	上記3のうち包括支援センターの移転に関すること			
			福祉部	高齢福祉課
	課長	上記1	大田	電話 6436-8721 (基盤工事担当)
	副参事	上記2のうち施設の整備計画に関すること		
			東穂	電話 5744-1305 (計画調整担当)
	所長	上記2・3のうち施設の運営計画、特別出張所の移転に関すること		
			土屋	電話 3721-4261
	課長	上記3のうち包括支援センターの移転に関すること		
			酒井	電話 5744-1255

千束地区公共施設の整備

新規

重プ

予算額 5,025万5千円

副題：(仮称) 北千束二丁目複合施設整備工事を推進します

ポイント

赤松小学校改築工事に合わせ、教育環境の維持・向上とともに、地域特性や行政需要に応じた公共施設を整備することで、新たな地域の拠点とすることを目指します。

事業概要

1 コンセプト

- (1) 利便性の向上 公共施設の集約複合化などによる効果的・効率的施設
- (2) 地域のにぎわい創出 地域の方が集う活性化拠点の整備
- (3) 防災拠点機能の強化 安全・安心なまちづくりの推進

2 施設概要

- (1) 千束特別出張所
- (2) 地域包括支援センター・シニアステーション
- (3) 防災備蓄倉庫

3 整備スケジュール

令和2年度～ 建築工事

問合先	担当部課	上記2(1)	地域力推進部	千束特別出張所
		上記2(2)	福祉部	高齢福祉課
		上記2(3)	総務部	防災危機管理課
	所長	上記2(1)	小倉	電話 3726-4441
	課長	上記2(2)	酒井	電話 5744-1255
		上記2(3)	長沼	電話 5744-1704

蒲田西地区公共施設の整備

重ブ

予算額 35億9,391万5千円

副題：蒲田西地区公共施設の整備計画を推進します

ポイント

蒲田西地区では、大田区民センター跡地に、乳幼児から高齢者までさまざまな世代が利用しやすく、健やかにいきいきと活動できる地域拠点「大田区新蒲田一丁目複合施設」を整備します。

また、蒲田西特別出張所の旧庁舎を大規模改修し、今後も活用していくことで、区民サービスを維持・向上させます。さらに、東京都と連携し、都区合同庁舎の建設を進めます。

事業概要

1 新蒲田一丁目複合施設新築工事

(1) コンセプト

- | | |
|----------|---------------------|
| ア 地域力の拠点 | 地域活性化につながる地域活動の場の充実 |
| イ 子どもの拠点 | 子どもの生活環境の向上 |
| ウ 高齢者の拠点 | 切れ目のない支援を行う高齢者施設の充実 |

(2) 施設概要

- ア 区民活動施設
- イ 新蒲田保育園、子育てひろば
- ウ 中高生ひろば
- エ 地域包括支援センター・シニアステーション

(3) 整備スケジュール

- | | |
|--------|------|
| 令和3年度 | 建設工事 |
| 令和4年度～ | 運営開始 |

2 蒲田西特別出張所大規模改修工事

現在、蒲田西特別出張所は、大田都税事務所1階へ一時移転をしています。
蒲田西特別出張所の旧庁舎は、大規模改修工事を行い、今後も活用していきます。

(1) 整備スケジュール

令和3年度 大規模改修工事
 令和3～7年度 蒲田西特別出張所として使用
 令和8年度～ 地域活動施設

3 都区合同庁舎建設工事

東京都と連携し、都区合同庁舎の建設を進めていきます。

(1) 施設概要

ア 蒲田西特別出張所
 イ 地域包括支援センター・シニアステーション
 ウ 大田区いきいきしごとステーション
 エ 大田区社会福祉協議会
 オ 大田区シルバー人材センター
 カ 大田都税事務所

(2) 整備スケジュール

令和3～4年度 実施設計
 令和5～7年度 建設工事
 令和8年度～ 運営開始

問合先	担当部課	上記1(2)ア	地域力推進部	地域力推進課
		上記1(2)イ	こども家庭部	保育サービス課
		上記1(2)ウ	こども家庭部	子育て支援課
		上記1(2)エ・3(1)イ、ウ、オ	福祉部	高齢福祉課
		上記2・3(1)ア	地域力推進部	蒲田西特別出張所
		上記3(1)エ	福祉部	福祉管理課
	副参事	上記1(2)ア	東穂	電話 5744-1305 (計画調整担当)
	課長	上記1(2)イ	津本	電話 5744-1276
	副参事	上記1(2)ウ	増田	電話 5744-1678 (放課後居場所づくり担当)
	課長	上記1(2)エ・3(1)イ	酒井	電話 5744-1255
所長	上記2・3(1)ア	堀江	電話 3732-4785	
課長	上記3(1)ウ・オ	浅沼	電話 5744-1428 (元気高齢者担当)	
	上記3(1)エ	有我	電話 5744-1241	

公園・緑地の整備 **重プ**

予算額 9億546万3千円

副題：魅力あふれる拠点公園・緑地、地域に根ざした公園・緑地をつくります

ポイント

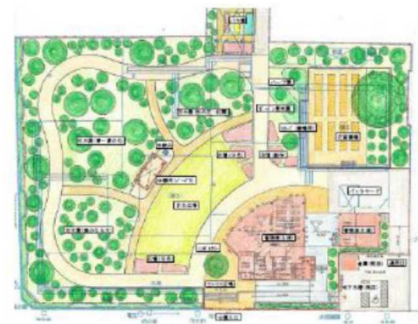
緑にふれ、草花を育て楽しむことができる（仮称）大森南緑花園の整備や、誰もが楽しめるユニバーサルデザインを進める平和島公園など、魅力あふれる拠点公園・緑地の整備に取り組みます。また、地域の特性や区民ニーズを的確に捉え、地域に根ざした公園・緑地の整備も進めます。

事業概要

1 魅力あふれる拠点公園・緑地の整備

区内の緑の総合的な機能拡充を図り、新たな緑の拠点となる公園・緑地の整備を進めます。

- ◆ 平和島公園〔設計・整備〕
- ◆ 西六郷公園〔整備〕
- ◆ （仮称）大森南緑花園〔整備〕
- ◆ 田園調布せせらぎ公園〔設計など〕



（仮称）大森南緑花園 イメージ平面図

2 地域に根ざした公園・緑地の整備

多様な世代の人が利用しやすく、「地域の庭・広場」として地域に親しまれる公園・緑地を目指します。地域特性、区民ニーズを反映した「子育てひろば公園づくり」、「いきいき健康公園づくり」、まちづくりと連携した整備など、公園・緑地の新設・拡張・リニューアル整備を進めます。

- ◆ 平張第二児童公園 など〔設計〕（拡張）
- ◆ 子育てひろば公園づくり〔池上五丁目公園〕（整備）
- ◆ いきいき健康公園づくり〔くすのき公園など〕（基本計画策定）



子育てひろば公園づくり イメージ図

問合せ先

担当部課 都市基盤整備部 都市基盤管理課
都市基盤整備部 建設工事課

課長 計画に関すること 保下 電話 5744-1689
整備に関すること 大田 電話 6436-8721（基盤工事担当）

倒れない・燃えないまちづくりの推進

重プ

予算額 14億6,454万5千円

副題：中小企業者への受注増大を図ると共に、

災害に強いまちづくりを推進します

ポイント

倒れないまちづくりと併せ区内経済の活性化を推進するため、老朽木造住宅を除却する費用の一部を助成する木造住宅除却工事助成について、区内中小企業者を利用した場合の助成限度額を引き上げます。

また、燃えないまちづくりを推進するため、不燃化特区内における戸建て建替え助成についても、設計などを中小企業者が行った場合に助成限度額を引き上げます。

事業概要

1 倒れない・燃えないまちづくりにおける中小企業者支援

(1) 木造住宅除却工事助成制度の拡充

耐震化を促進するとともに中小企業者を支援するため、倒壊危険性のある老朽木造住宅を除却する際に区内中小企業者を利用した場合、助成限度額を現行の50万円から75万円に引き上げます。

除却前



除却後

(2) 不燃化特区制度を活用した建替え助成制度の見直し

不燃化特区内において老朽化した住宅を建替える際に、設計などを中小企業者が行った場合、助成限度額を50万円引き上げます（準耐火建築物：100万円、耐火建築物：150万円）。

2 住宅市街地総合整備事業の推進

羽田地区防災まちづくり

木造住宅が密集し、延焼の危険性が高い羽田地区で、避難路となる3本の重点整備路線の拡幅整備を推進します。また、老朽空き家の所有者への出張相談の取り組みを強化し、除却を促進するとともに、未利用の用地を取得して広場などへの整備を行います。



羽田地区 重点整備路線の整備イメージ

3 都市防災不燃化促進事業

防災街区整備地区計画を制定した「大森中・糎谷・蒲田地区」及び「羽田地区」などでは、防災上重要な道路沿道において、耐火性の高い建築物に建替える際の費用の一部を助成します。

なお、「大森中・糎谷・蒲田地区」は、令和3年度完了分で、事業が終了となります。

問合せ先	担当部課 まちづくり推進部 防災まちづくり課
	課長 瀬戸 電話 5744-1455